

製本のススメ

Vol. 142

春爛漫 まさにそんな感じになりました。初夏といっても良いような気候の日もありますね。新しいランドセルの子供たち 真新しいスーツの若者達 前途洋々の人たちが街にあふれています。心華やかな季節ですね。

今回は**企画の注意点**な話し

製本技術は、もともと書写した紙を読みやすいように綴じる事が目的で発展してきた技術です。手作業で製本するなら どのような本でも製本は可能ですが、現在の製本は大量の本を安価で作ることを目的にしているので、どのような物でも本に出来るわけではありません。

いかに優れたデザインや高度な技術を駆使した印刷物であっても 現在の製本工程の条件に合致しないものならば、それは欠陥部材であり企画ミスといえます。使う用紙の持っている特性 厚み等が実際の印刷物となった時に、どう加工されていくのか どんな使われ方をするのかまでも顧客と打ち合わせをし 製品に仕上げるという企画でなくてはなりませんね。

例えば薄い和紙で表紙を作りたいと言う顧客の注文であっても、機械加工と短納期では無理ですね。つまり**企画ミス**というわけです。しかし これらの物も加工できないわけではありませんが、大幅な時間と経費のロスが発生することを考慮せざるをえません。

さて 間もなく12年目を迎える「製本のススメ」では更なるステップアップとして製本の設計 部材に該当する企画やデザイン 印刷物について**不適合とされるものには どういうものがあるのか それは何故か**を主要な事柄を題材に順次お話をしていこうと思います。毎号欠かさずご覧いただければ、達人になれること間違いなしです。

次回シリーズ1回目は営業担当の役割と注意点・製本会社の使い方などから始めたいと思っています。



Tea break

旅客局によると 50 歳以上夫婦の旧婚旅行用にシルバー周遊券というものを発行し そこから連想してシルバーシートと名付けられたそう。これ以後シルバーという呼び名は老齢 高齢等のキャッチフレーズになりました。でも今時はシルバー世代の方が 若者よりハツラツとしているように思えますが。。。 (笑)

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本